

要因であり、若し之を激減せしむるに於ては、(實現は不可能であるが)經濟界のバランスを失せしむるの惧がある。仍つて今後問題は經濟界の根底ある好轉を期しつゝ、漸を逐ふて財政收支の均衡を復せしむる方針を樹立するに在る。而して差當つては膨脹の因たる軍事費の今後に付ての大體の計畫を見究はめるの必要があらう。之と共に滿洲國の建設計畫、資金の需要程度を明確にするは、國債消化力の測定其他に關し、大いに意義あるものである。以上の外、景氣の跛行性を調整して、根底ある購買力を培ふと共に、輸出貿易の維持發展には今後尙ほ力を盡さねばならぬと信ずる。随つて我財界の堅實なる發展を庶幾する上に於て、最も留意すべきは左の諸點に在る。

(一) 財政計畫の樹立

赤字公債の續發は當分已むなしとするも漸を逐ふて其の發行額を減少し、財政の常道に復歸せしむる方針の下に後年度に亘る財政計畫を樹立するは最大の急務である。而して現時の財政膨脹の因由は軍事費に在り、此の今後の見透しの附かざることが財政不安の最大原因なるを以て其の後年度に亘る計畫を明瞭ならしむるの要がある。

歳出の輪郭を描き得れば之に應じて歳入方面を按配すべく官業の合理化、一般特別會計間の財政調整を行ふの外全般の歳出計畫に應じて增收の途を講ずることが出来るであらう。而して經費中經常的經費と、臨時的經費との區別を明にし、經常的經費は經常的収入を以て賄ふの方針を定め、尙ほ公債

支辨に依る歳出の範圍を明確ならしめる等に依り財政の合理化を圖るの要ありと信ずる。是等に依つて公債の民間消化も一層容易ならしめることを得るであらう。

(二) 對滿投資問題

滿洲國に於ける産業建設の爲物資需要が喚起されたことが我産業界の擴大の一因であるが、其の源は我國よりの投資に在る。此の對滿投資の今後及其の成果如何が我經濟界に重大なる影響あるは謂ふ迄も無く、差當つては國債の消化力に至大の關係がある。而して對滿輸出の増加は現在是我が投下資金の還流に外ならぬが、滿洲國內部の購買力増加を促すに努めねばならぬと思ふ。是等に關しては

- (一) 滿洲國の産業建設計畫に對應して其の資金需要程度を明にすると共に、内地の資金需要との間に均衡を保たしむること。
- (二) 滿洲國に發達せしむべき産業の種類に付我國既設産業に悪影響を及ぼさざる様充分調和を計ること。
- (三) 滿洲國に對する移民を一層奨勵すること。

(三) 景氣の普通化

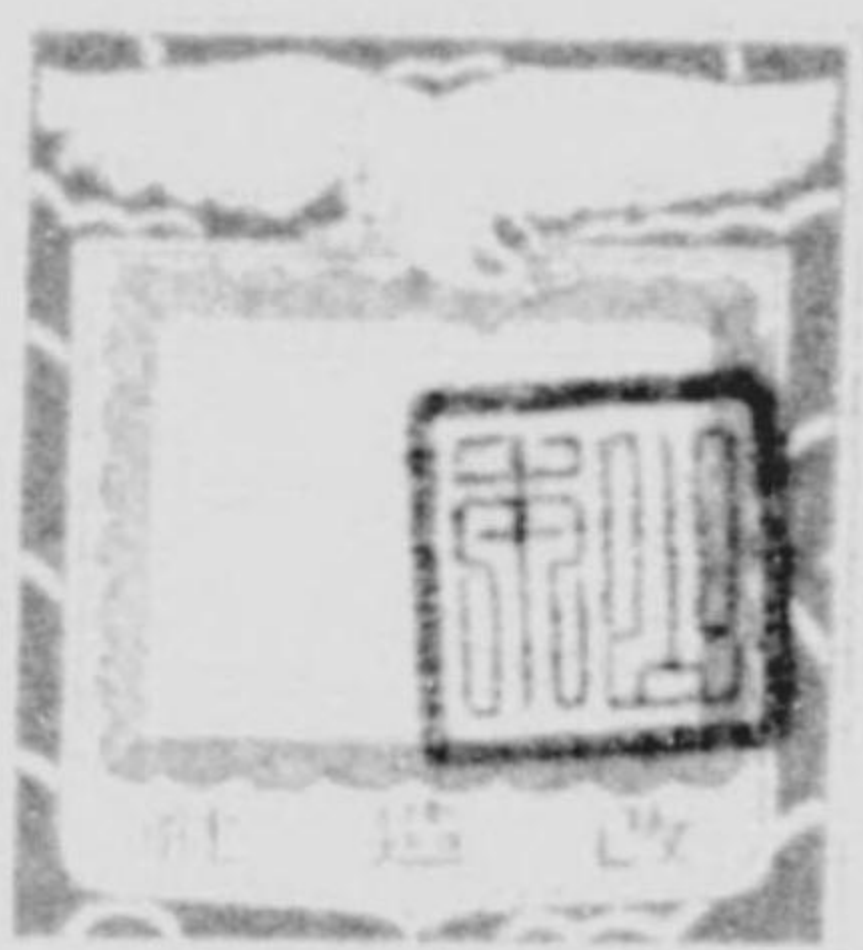
之に付ては結局農村及中小商工業者の状態改善を目標とすべきものであるが、其の方法としては人

口の大都市集中傾向を緩和し、農村の過剰勞力を地方資源の開発工業の地方分散等に利用するの方策を講ずること等が考へられる。尙ほ現行の地方行財政に付ても改善を加ふるの要ありと思はれる。

(四) 輸出貿易の維持發展

之に付ても悪性インフレーションに依つて物價變動の起らざる限り輸出貿易の現状維持は困難ならざる如きも、更に其の進展を計る爲の方策を講ぜねばならぬ。就中

- (一) 日支間の通商障壁を除き日支經濟提携の進捗を圖ること。
 - (二) 特に重工業、化學工業方面の販路擴張を圖ること。
- 等が其の重要なものと考へられる。



昭和十年十二月二十四日印刷
昭和十年十二月二十八日發行

日本財界の情勢
定價 金壹圓貳拾錢

(兩角製本)

編纂者 東京商工會議所
右代表者 天野健雄

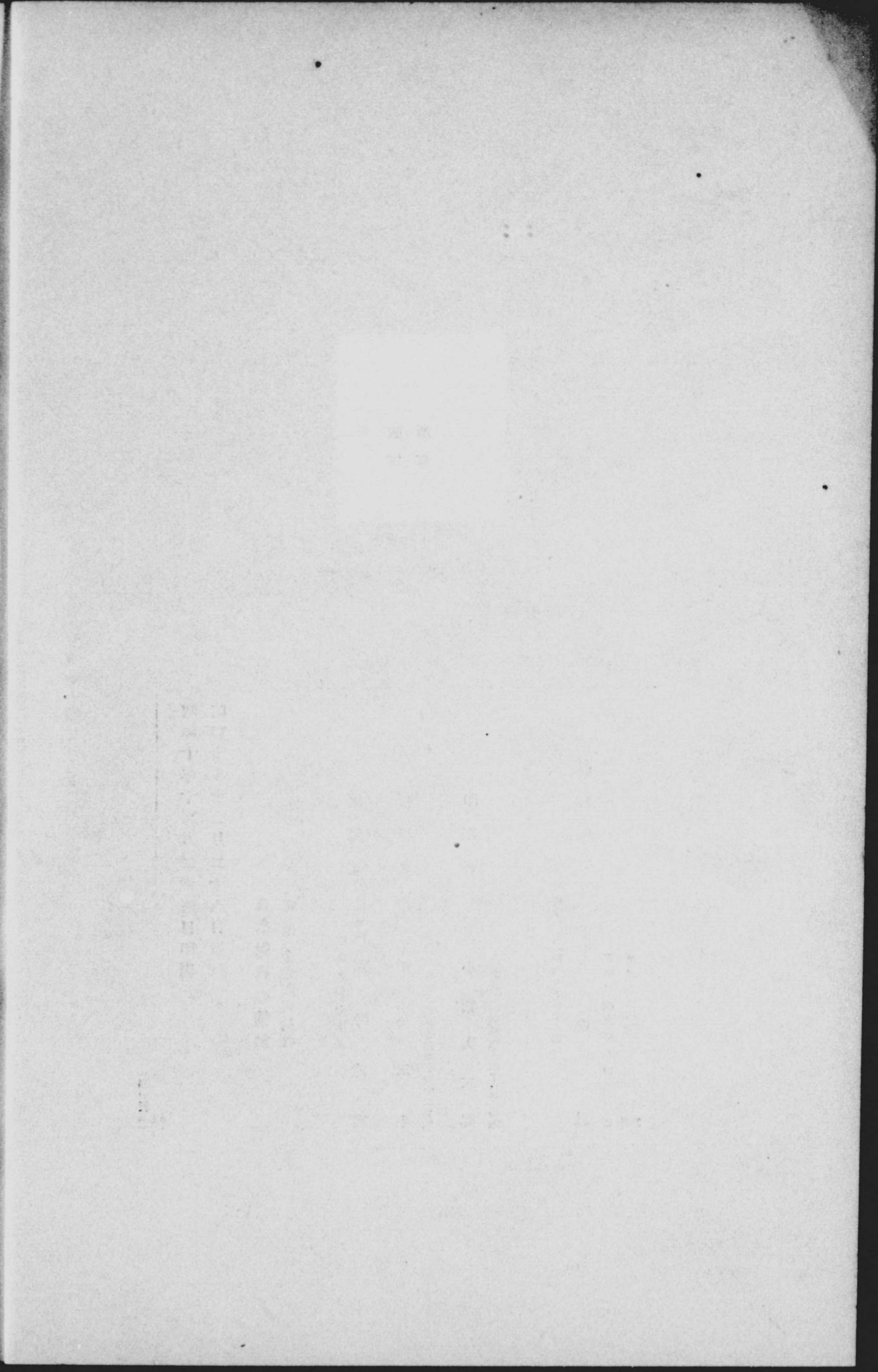
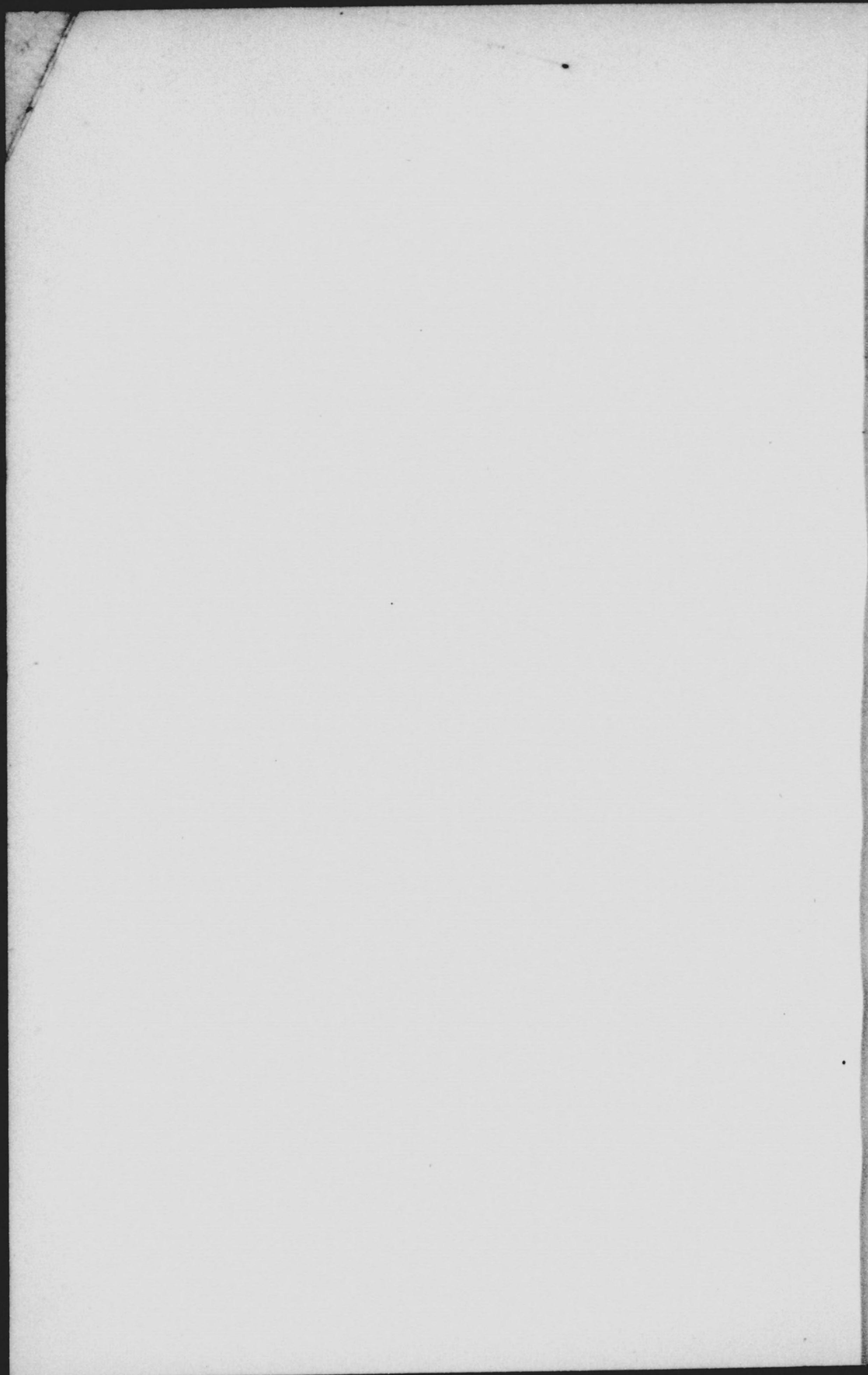
發行者 山本三生
東京市芝區新橋七丁目十二番地

印刷者 小紫與三郎
東京市京橋區京橋三丁目八番地

發行所

東京市芝區新橋七丁目十二番地
改造社

振替口座東京八四〇二番
電話芝(43)自一一二四番



32.3. 6

